

【信州大学における節電対策】

待機電力の対策

- ・ 普段使用しない電化製品などのコンセントを抜いておく
- ・ 待機電力をスイッチ付きコンセントなどでこまめに切ることが望ましい

窓の対策

- ・ 窓のブラインドを下ろし外部からの熱負荷を低減する

冷房の対策

- ・ エアコン冷房の設定温度は28℃に設定する（但し、教育・研究・診療等で支障のあるものは除く）
- ・ 扇風機で部屋の空気を攪拌しエアコンなどの負荷を軽減する
- ・ お昼休みの空調停止の徹底を図る
- ・ 実験室・講義室等の空室時間帯の空調停止する
- ・ エアコンフィルターはこまめに掃除する
- ・ 部屋の出入口をこまめに閉める

照明の対策

- ・ 日差しがあり部屋が明るいときは照明をつけない
- ・ 蛍光灯はこまめに掃除する
- ・ お昼休みの照明消灯の徹底を図る
- ・ 実験室・講義室等の空室時間帯の照明消灯する
- ・ 照明のスイッチをこまめにオン・オフする

実験機器の対策

- ・ 電力使用のピーク時（11～15時）の実験機器の運転を控える

冷蔵庫・冷凍庫の対策

- ・ 冷蔵庫・冷凍庫の扉の開閉回数や開閉時間を減らす
- ・ 冷蔵庫・冷凍庫は涼しい場所で周りに隙間を空けて通気をよくなるよう配置する
- ・ 冷蔵庫・冷凍庫にものを詰め込みすぎない（1月1回は整理）
- ・ 冷蔵庫の温度設定を「弱」に設定する
- ・ 冷蔵庫の集約化を図る
- ・ 冷蔵庫で冷やさなくてもよいものは外に出す

パソコンの対策

- ・ スクリーンセーバーはキャラクターを動かすより画面の電源を切る設定にする
- ・ パソコンはバッテリーで駆動し、帰宅時に充電する
- ・ デスクトップの背景色を単一色とする
- ・ スタンバイより休止モードにする
- ・ 画面の明るさを少し控えめにする
- ・ パソコン機器にはスイッチ付きコンセントを使用することが望ましい
- ・ ハブの集約化を図る

エレベーターの対策

- ・ エレベーターの使用を控える

電気ポットの対策

- ・ 電気ポットの代わりに、ガスで沸かしたお湯をポットなどに入れて使用する
- ・ 基本的に必要なときに必要なだけお湯を沸かす

温水洗浄便座の対策

- ・ 設定（温度・水量・便座のOFF）を確認する
- ・ 利用後はふたをする

その他

- ・ クールビズ・ノー残業デーの徹底を図る
- ・ 夏季休暇の積極的な取得を図る
- ・ 省エネ物品の購入を図る
- ・ 電力使用のピーク時の自販機の冷却運転停止を図る

なお、節電は一人一人の心がけが大切です。
エアコンフィルター清掃・蛍光灯清掃などその部屋に居る人で行いましょう。